



5月号

ふじいでら 市議会だより

編集・発行／藤井寺市議会
☎939・1208
藤井寺市岡1-1-1

令和2年度各会計予算額

		対前年度比 増減率
一 般 会 計	237億3,400万円	(-1.8%)
駐 車 場 特 別 会 計	3,529万円	(2.1%)
国民健康保険特別会計	76億2,899万円	(-0.1%)
後期高齢者医療特別会計	10億5,965万円	(5.6%)
介護保険特別会計	61億8,579万円	(3.7%)
水 道 事 業 会 計	28億7,802万円	(-10.7%)
病 院 事 業 会 計	28億9,871万円	(-8.1%)
公 共 下 水 道 事 業 会 計	53億 549万円	(0.0%)
総 合 計	497億2,594万円	(-1.6%)

※それぞれの項目で四捨五入をしているため、合計とは一致しません。
※対前年度比増減率は、令和元年6月補正後の予算額との比較です。

令和2年第1回 定例市議会の概要

第1回定例会は2月21日から3月25日までの34日間の会期で開催され、市長から提出された令和元年度補正予算、条例の一部改正、報告案件、その他の案件など計25件、議会議案1件、意見書2件について、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求め送付しました。

◎新たな過疎対策法の制定に関する意見書

◎中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

一般質問



政新クラブ
代表質問
岡本 光

1 市政運営方針について

(1) 新型コロナウイルス対策について

質問 新型コロナウイルスへの方針、対策についてお聞かせください。

答弁 市主催のイベントや集会を原則、開催中止又は延期にしました。また、業務に支障のない範囲で職員の時差出勤を実施することになりました。

要望 市民の方々への情報提供や注意喚起、問い合わせに適切に対応していただくようお願いいたします。

(2) 公共施設マネジメントについて

質問 市民総合体育館、図書館、スポーツセンターの複合化についてお聞かせください。

答弁 30年間で40億円から60億円見込む概算結果を踏まえて、複合施設整備を前向きに進めたいが、市全体の行政需要、財政需要とのバランスを見極める必要があります。令和2年度中に

最終判断を行いたいと考えています。

イ. ESCO事業について

質問 事業概要やスケジュール等についてお聞かせください。

答弁 令和2年度中に市役所、市民総合会館本館、別館、生涯学習センター、保健センターの空調、照明等の省エネ化改修を行う予定です。

要望 複合施設について意気込みを持っていただき、早く進めていただくよう要望します。

(3) GIGAスクール構想の実現に向けて

質問 政府の方針であるGIGAスクール構想について、具体的に何をしていくのかお聞かせください。

答弁 校内通信ネットワーク整備と児童生徒1人1台のPC端末を令和2年度から令和5年度にかけて順次整備する計画です。

(4) まちなか観光創造プランの改定について

質問 まちなか観光創造プランの改定理由と改定概要をお聞かせください。

答弁 世界文化遺産登録やインバウンド化、アイセルシユラホールの活用や道明寺地区の観光案内所の検討など、観光振興を取り巻く環境の変化に対応するための計画改定を行おうとして

ています。

質問 アイセルシユラホール、道明寺地区の観光振興の取り組みについてお聞かせください。

答弁 アイセルシユラホールの活用については、景観スポット、体験コンテンツの構築、ニーズ調査など、短期・中長期の戦略を立てて進めていくこととしています。

道明寺地区については多くの歴史資産があり、集客施設の設置や周遊していただくための環境整備を行う必要があります。

(5) 商工業振興に関する新たな計画の策定について

質問 商工業の振興に関する新たな計画策定に取り進むに至った経緯をお聞かせください。

答弁 グローバル化の進展やICTの普及による経済を取り巻く環境は目まぐるしく変化していることから、地域経済の一層の推進を目的に計画策定を進めようとするものです。

質問 事業主のニーズ把握が必要だと思いますが、把握方法についてお聞かせください。

答弁 2025年問題への対応、キャッシュレス化の進展による買い物環境の変化などに対応できるよう計画に盛り込む必要があります。まずはアンケート調査を実施し、的確に対応で

きるよう進めていきたいと考えています。

要望 藤井寺がもっと元気になっていたきたいと願っております。そのためには、観光、商工業のつながりを念頭に置いていただきながら進めること、また市内にある数々の歴史資産を守っていくことと同時に、シビックプライドのさらなる醸成やまちの活性化につなげていただくことを要望します。



政新クラブ
個人質問
麻野 真吾

1 藤井寺市の将来展望について

質問 20年先、30年先の藤井寺市の将来展望について市長のお考えをお聞かせください。

答弁 市民協働・公民連携の観点でまちづくりを進め、市民一人ひとりが幸せを実感でき、住んでいることを誇りに思える市を実現したいと考えています。

(2) 今期4年間の展望について

質問 市政運営方針、当初予算案は、将来展望の実現のための課題解消を踏まえているのでしょうか。

答弁 5つの重点施策に沿ってA-1の活用、子育て支援の充実、国土強靱化地域計画策定な

どに関連する予算を盛り込んでいます。また、行政運営においては人が重要と考えます。発想豊かな人材やICTに長けた人材の確保や育成を進めていくことが、リーダーシップであると考えています。

2 英語村の開設について

(1) A-LTを活用した英語教育の実現について

質問 英語村の進捗状況をお聞かせください。

答弁 令和2年2月16日に市役所地下で「でらっこイングリッシュデュー」を実施しました。参加者のアンケート結果を踏まえ、課題を再検討しながら令和2年度の企画を考えていきます。





日本共産党
代表質問
瀬川 寛

1 市政運営方針について

(1)「風通しのよい市政を市民目線で実行」するについて

質問 市は重要施策について適切な情報発信を行っています。藤井寺市民病院の統合再編問題では、南河内保健医療協議会で病床機能のあり方について「継続審議」となりました。府は病床機能の転換を迫っていますが、市の方針をお聞かせください。

答弁 大阪府と協議し、引き続き、今までもおりの医療が提供できるよう、医師の確保、経営改善に努めます。救急指定は受けていませんが、9時から17時までの救急車の積極的受け入れ、患者の高齢化対策や感染症対策、小児科の入院病床の確保、入・退院時の相談業務の充実など、医療機能・医療提供環境の充実・改善を図ることが必要だと考えています。

要望 適切な情報提供という点では下水道料金の問題があります。下水道事業の遅れの責任は利用者にあります。にもかかわらず17%以上の値上げをする根拠、その前提も、納得がいなく説明がされていません。市と国の責任を曖昧にするもので、

改めてください。
質問 水道事業の企業団への経営統合の問題では、水道料金などの決定権が企業団に移るという統合のデメリットは、市民には説明しないのですか。
答弁 1年に巨り企業団と協議を重ね、将来にわたって安心、安全な水道水を安定して送り続けるために決断したものです。
質問 1月の企業団の首長会で市長が述べられた「スケールメリット」とは何ですか。人員は確保されるのですか。
答弁 経営シミュレーション上の人員は約束されたものではなく、企業団のもつ組織力や技術力の活用により、必要な時期に必要な人員を確保することで、スリム化を図りながら、効率よく事業を進めていくことです。
要望 人員は現時点ですでに不足しています。統合の合理的根拠が総崩れだと考えます。こうした重要なことを市民にまともには知らせず進めることは間違いです。改めてください。
質問 第5保育所の耐震化の長年の遅れは失策です。繰り返しがないためにも、第5保育所の現状調査を踏まえた検証をすべきです。そもそも今ある図面は、竣工図(完成時の図面)ではないですね。それも認めになりま

せんか。

答弁 残存する図面がほとんどない中、第5保育所をもっとも表す図面であるという点に鑑み、竣工図とみなしているものです。
要望 第5保育所の現状について、きちんとした説明を議会にも保護者にもしてください。

(2)「子育てをするなら藤井寺」と言われるまちを実現」することについて
質問 教育環境の充実についてお尋ねします。体育館へのエアコン設置で活用できる補助金等、お聞かせください。
答弁 補助メニューとしては、「学校施設環境改善交付金」の大規模改造(質的整備)があります。また避難施設でありますことから、緊急防災・減災事業債という地方債の活用が考えられます。

要望 夏の暑さは尋常ではありません。使えるものは何でもしっかり活用してください。また教育環境としてはハードとソフトに人が大切です。支援学級の子どもを含めた人数で1クラスが45人以上の場合、教員を1人増やして学級数を増やしていただけのことになっていきますが、この基準を引き下げてください。

(3)「気候非常事態宣言」について

要望 国の方針待ちにならず、2050年までに温室効果ガス排出を0にするために、「気候非常事態宣言」を行い、自治体としても発信してください。



日本共産党
個人質問
木下 諤

1 市政運営方針について

質問 国民健康保険料は、平成29年度から令和2年度で、所得200万円40歳夫婦お子さん2人の4人世帯では40万1000円から43万819円に、所得0円70歳夫婦では3万900円から3万7113円に、上がりました。所得の2割超の負担を市長はどう考えますか。
答弁 被保険者の所得が低くなる中、国保料の負担が大きくなっていることは認識しています。

質問 家族の人数に応じて掛かる均等割によって子どもが多い家庭ほど国保料の負担が増えます。減免を行うべきです。効果額と経費を教えてください。
答弁 18歳以下が3人以上いる約150世帯に減免した場合、令和2年度では1人あたり4万494円となり、財源は2000万円程度必要となります。

要望 国保会計の単年度収支約6700万円を活用し、減免を

実施してください。
質問 現在の市内事業所の状況の認識をお聞かせください。
答弁 地域経済の縮小傾向は続いていると考えられます。本市での事業所の状況は、約75%が小規模事業者となっております。

要望 日本共産党は市内事業所の実態調査を求めてきました。令和2年度には、商工業振興の新たな計画策定に向けたアンケート調査を行うとお聞きしています。調査は全事業所を対象にし、消費税増税や新型コロナウイルスの影響も調査してください。同時に保証料の補填などの金融支援策や既存店舗の改修補助制度を実施してください。そして小規模企業振興基本法の理念を基本とした商工振興条例の早期制定をめざしてください。





改革ふじいでら
代表質問
山本 史司

1 市政運営方針について

(1)東京2020オリンピックの聖火リレーについて

質問 聖火リレーを通じて、本市の魅力をごどのように発信させていくのかお聞かせください。

答弁 世界文化遺産のまち藤井寺を世界中に発信できるように世界遺産の横断幕やのぼりなどを用いてPRを考えております。

要望 聖火リレーを最大限に活かして、市民の皆様の一生の思い出に残るような企画を考えていただくことを要望します。

(2)楽しい・にぎわい・交流できるイベントについて

質問 市民まつりの復活について、市長の思いをお聞かせください。

答弁 今までと違う組織を立ち上げ、市民の皆さんと職員がアイデアを出し合い、今の時代に合った新しい形の市民まつりを考えています。

要望 先ずは、しっかりと体制を築いていただき、以前のような活気ある市民まつりの復活を要望します。

(3)世界遺産のあるまち藤井寺について

質問 古墳群の保全と史跡指定の公有化について

質問 津堂城山古墳については、令和2年度に前方部私有地の公有化計画があり、史跡整備の環境は整いつつあります。そこで、今後の整備計画についてお聞かせください。

答弁 今後は、保存活用計画策定に2か年、また第2次整備計画策定に2か年を要する予定で、遅くとも、令和6年度には整備に着手したいと考えています。

要望 今後とも、早期の整備に向けて精力的に取り組んでいただくことを要望します。

(4)地域生活支援拠点について

質問 障がい者の緊急時の受入・対応が可能な施設について

質問 第5期障害福祉計画の期間内の整備に向けての取り組みについてお聞かせください。

答弁 本市と柏原市で、柏原市にある障害者施設の一室を借り上げる形で実施を目指します。

要望 緊急時の受入・対応については進めていただきましたが、他の4つの機能についても、早期の実施に向け取り組んでいただくことを要望します。

(5)子育てをするなら藤井寺と道明寺子ども園のあり方について

質問 道明寺子ども園について、組織のあり方の見直しを行っていくと述べられているが、市長の考えをお聞かせください。

答弁 今後は、認定子ども園も選択肢として通わせて良かったと満足していただけるよう、強い思いで見直しに取り組みたいと考えております。

要望 早期に組織を見直していただき、子どもたちのために、より質の高い幼児教育・保育を目指すよう要望します。

(6)公共下水道の整備について

質問 今池処理区1-18分区の整備計画について

質問 恵美坂2丁目や北岡2丁目などの今後の整備の進め方についてお聞かせください。

答弁 令和2年度には実施設計令和3年度からはガス管や水道管などの移設工事を行い、そして令和4年度から下水道工事に着手する予定になっております。

要望 この地域にお住いの住民の皆さんは、早期の整備を心待ちにされておられますので、一日でも早く下水道を整備していただくことを要望します。

(7)津堂・小山地区の今後のまちづくりについて

質問 都市計画道路八尾富田林線の、今後の予定についてお聞かせください。

質問 都市計画道路八尾富田林線の、今後の予定についてお聞かせください。

答弁 令和2年度は、詳細設計や用地買収、また文化財調査などの実施を予定しており、引き続き令和8年度末整備完了を目標に事業を進めていくと聞いております。

要望 大阪府事業ですが、事業を進めるにあたり、地元市として積極的にかかわり早期の整備完了に向け、しっかりと取り組んでいただくよう要望します。

I. 土地利用の勉強会について

質問 八尾富田林線の沿道の、津堂・小山地区の土地利用について地権者の方々と勉強会を実施され、協議会設立に向け進めていただいているが、今後の活動についてお聞かせください。

答弁 今後は、地権者が主体となり税や法律などの講習会、先進市への視察会などこの地区の将来を考えていくための活動、また地権者のニーズや意向を反映した「まちづくり構想」の策定も行います。

要望 まちづくり協議会を設立することで地元のみならず、考え、子や孫に残していける、土地利用ができるよう市も協力をお願いします。また国でも、まちづくりを進めるにあたり支

援制度なども設けられているので様々な情報にアンテナを張り、機を逃すことなく財源の確保に努めるよう要望します。



改革ふじいでら
個人質問
國下 尊央

1 市政運営方針について

(1)市長タウンミーティングについて

質問 タウンミーティングは今後どのような形で実施するのか市長自身の思いをお聞かせください。

答弁 藤井寺の未来はみんなで作るといった考えのもと、市民と力を合わせ元気な藤井寺市にするべく、皆さんのアイデアを一つでも多く施策に反映できるように引き続き実施していきます。

要望 実施状況についてはできるだけ早く広報などへ掲載していただき、各部署でも同様に実施して市民参画を進めていただきますよう要望します。

(2)新型コロナウイルス感染症への対応について

質問 新型コロナウイルス感染症の疑いの症状が出た場合の流れ、及び保健所との連携についてお聞かせください。

答弁 「新型コロナウイルス感染症についての相談、受診の目安」に基づいて電話で相談を聞

くなど、大阪府藤井寺保健所と連携し、情報を共有等、市民の安全安心の確保、感染の拡大防止にむけて、努めてまいります。

(3)市の道路状況について

質問 市内の国道、府道について、また、近鉄藤井寺駅南側のバス停からタクシー待避所までの、管理状況についてお聞かせください。

答弁 国道、府道は現場確認の上、富田土木事務所担当へ、直接対応を依頼しており、同じく近鉄に申入れを行っていくと共に、来訪者対策としても藤井寺市の玄関に相応しい歩道空間となるよう話し合いを進めて参りたいと考えています。

要望 日常管理についてしっかりと行っていたきたい、また駅南側の歩道に対しても、引き続き近鉄に働きかけを要望します。

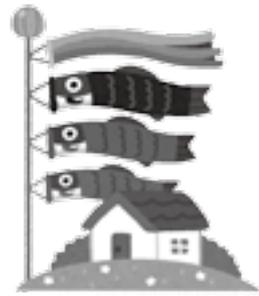
2 確定申告の状況について

質問 簡易な確定申告書の相談・作成を令和元年度から行わない様ですがこのことの経緯をお聞かせください。

答弁 市府民税の申告と同時にを行うことにより、来庁者を2時間以上の待ち時間を改善するため令和元年度から取りやめる事とさせていただきます。

要望 市民の方がなるべく遠方

に赴くことなく確定申告ができるよう、市としても意を用いていただく事を要望します。



公明党

代表質問

伊藤 政一

1 市政運営方針について

(1)子育てのまち藤井寺をめざして

質問 令和2年4月より開園予定のふじみ保育園では市の委託事業として、病後児保育事業を実施されますが、概要をお聞かせください。

答弁 対象は、ふじみ保育園通園児と藤井寺市民の方で、病気の回復期にあり集団保育が困難で、かつ、保護者の勤務状況で家庭保育が困難な就学前の子どもとなっております。

質問 病後児保育事業の人員体制と1日の利用人数は何人かお聞かせください。

答弁 委託事業として看護師、保育士各1人、利用定員3人です。

質問 病後児保育の子どもの体調が急変したときの対応をお聞

かせください。

答弁 まず、病後児保育を利用前に、かかりつけ医に利用可能かを診断していただきます。利用中に体調が急変した場合は保育園の嘱託医師と連携し、対応することになっていきます。

質問 周知はどのように考えているかお聞かせください。

答弁 広報ふじいでら、令和2年4月号に掲載予定です。

要望 今後は、学童保育の要望もいただいているとのこと、安心し、喜んでいただける事業運営を要望します。

質問 GIGAスクール構想で、子どもたち1人1台の端末環境を整備するにあたって、それに伴い有害情報やネットいじめにどのように対応されるのかお聞かせください。

答弁 情報モラルに関する児童生徒への指導は以前から各校で実施しております。またフィリングなど安全に使用できる環境が整備されています。

質問 個人の状況に応じた端末整備についての取り組みをお聞かせください。

答弁 今回の端末導入には別売りの付属品は含まれず、今後の検討として考えております。

質問 端末の不具合やソフトの使用について専門的に対応でき

るICT支援員の配置についてお聞かせください。

答弁 端末の不具合やソフトのトラブル解決にはICT支援員の配置が必要になってくるのではないかと考えています。

要望 ICTを効果的に活用した学びの実現を目指してGIGAスクール構想の環境作りに全力で取り組んでいただくことを要望します。

(2)まちのにぎわい創出について

質問 観光資源を活かしたまちのにぎわい創出で、本市がこれまで進めてきたことをお聞かせください。

答弁 古市古墳群や国宝を有する神社仏閣、个性的な店舗などの本市の特徴を活かし様々な媒体での発信や工夫を凝らしたイベントなどを開催しています。

質問 本市の特徴を活かした観光分野における考え方についてお聞かせください。

答弁 答弁にもありました、まちのにぎわい創出は、最終的には施策トータルで成し遂げるものと考えています。本市ならではの特徴を活かし、ターゲット層を意識した情報発信やイベントなどを開催することで、まちへの来訪のきっかけをつくり、定住化につなげる取り組みを進めています。

質問 総合力のイメージについてお聞かせください。

答弁 観光施策だけではなく、子育て、教育、福祉施策などといった行政のあらゆる分野を合わせた総合力が必要であると考えております。

質問 まちのにぎわい創出について、あらためて市長の思いをお聞かせください。

答弁 子どもから高齢者まで笑顔の絶えない、誰もが住みたいまちに、そしてこのまちに住んでいるんだというシビックプライドを醸成してまいります。

他の質問項目

(3)防災に強い藤井寺の構築について

(4)住環境の整備について



公明党

個人質問

玉田 日登美

1 小学校におけるプログラミング教育について

質問 令和2年4月より小学校でのプログラミング教育が必修化されます。教科内に組み込まれる事で苦手だった教科を克服していける可能性もあります。また将来必ず必要となる「ICT力」を育成する大切な授業にな

ると思いますが本市の小学校での取り組みをお聞かせください。

答弁 プログラミング教育を適切に位置付け指導計画の作成に取り組んでいます。具体的な活動としてはプログラミング教育を指導するための教員研修を行っています。

要望 プログラミング教育に関するアンケートでは「内容が解らないので不安を感じる」と67%の保護者が回答しており、物事を順序立て考える思考力「プログラミング的思考」を養う事が目的であり、その手段としてプログラミング教育を行う事への丁寧な説明を要望します。

(2)今後の取り組み課題について
要望 プログラミング的思考も授業が楽しい事についていくと思えます。学校の先生方の負担はパソコンの得手不得手により大きく変わってまいりますので教員研修を充実させてください。我が党は「ICT支援員の充実」そして「心を育てる教育」を推進してきました。先生と生徒がプログラミング教育を通して楽しみながら学ぶ時間を共有するためにも機器の維持管理の面でもICT支援員の充実は必要であります。自分たちの力を活用して欲しいと考えておられる民間企業も多くおられます。あ

る地方では学生に助手として加してもらっています。人件費もかかりますが、民間の力も活用しながらICT支援員の配置を充実させてください。プログラミング教育を利用して子ども達の素晴らしい創造力を活かしてあげてほしいです。プログラミング教育実施事例教材の中に、

まちのPR大作戦という教材があります。「世界遺産のまち藤井寺」のPRに子ども達と取り組み自分たちで藤井寺市を盛りあげていく喜び多くの人と関わる喜びを教えてあげてください。

2 子育て施策の充実について

質問 子ども医療費助成制度18歳まで拡充を求める。子ども医療費助成制度の18歳までの拡充を求める要望書を公明党市議団で出させていたいただきました。人々の暮らしを高めていくには、若い世代が安心して子育てできる市の構築が必要です。子ども医療費助成制度についての考えを、お聞かせください。

答弁 大変重要な子育て施策と認識しているところでございますが大阪府の補助事業の対象外とされており、引き続き国及び府へは制度拡充を要望すると共に、本市においても助成制度の拡充の実施に向け更なる検

討を加えていきたいと考えているところでございます。

要望 子ども医療費助成制度18歳までの拡充を一日も早く実施していただく事を強く要望いたします。



大阪維新の会
代表質問
生田 達也

1 市政運営方針について

(1)学習する組織づくりについて

質問 有事の時ほど、市政の評価が問われます。各組織でもって迅速な対応が肝心です。平時から学習する組織づくりが、持続可能なパフォーマンスを維持、成長、発展するための戦略です。いかが思われますか。

答弁 変化の激しい現代社会において、適応力を高める民間視点、先進事例の研究など、職員自ら視野を広げる努力が重要です。常に情報を発信、共有し、組織で学習する環境整備に努めます。

2 副業について

(1)職員の副業について

質問 知見を増やす施策として副業も考えられます。他市でも取り入れ、職員の意欲向上と地域課題解決にも寄与してまいります。現状をお聞かせください。

答弁 社会貢献活動などへの兼業に消極的ではございません。許可基準を広く周知し、職員が参画できるような取り組みは必要であると考えます。

質問 市長の考えを伺います。

答弁 職員が様々な活動に携わり、何かを感じ、具体的に行動して欲しい思いがあります。大阪府の公民連携、デスクに職員を派遣し、人脈構築を図り、公民連携、社会貢献活動の手法を習得してもらい、本市に還元させたいと考えています。

要望 インプットを市政に反映するアウトプットが大事です。自らの仕事や役割を創造的に広げる取り組みができる組織づくりを要望します。

3 予防医療について

(1)口腔ケアについて

質問 令和元年12月本会議で、口腔ケアの重要性を取り上げ、子供の頃からの正しい歯磨き習慣が大事だと伝えました。教育現場である学校の協力が必要ですが、考えをお聞かせください。

答弁 令和元年、藤井寺小学校

が国の口腔ケア推進事業の指定を受け、取り組んでいます。以前、指定を受けた道明寺南小学校は、有効であったため、引き続き給食後の歯磨き指導を励行しています。その他の学校でも、児童個人で歯磨きの道具を持参された場合、良いことであるので対応いたします。



大阪維新の会
個人質問
松本 洋介

1 放課後児童会について

質問 令和2年度放課後児童会の現時点での入会希望者数を教えてください。

答弁 令和2年2月20日時点ではあおぞら学級110人、ふじのこ学級105人、すぎのこ学級118人、なかよし学級88人、たけのこ学級98人、ひまわり学級68人、たんぼ学級67人計で654人となっております。

質問 入会希望者数は藤井寺南小学校ふじのこ学級105人と藤井寺西小学校すぎのこ学級118人では両学級とも定員超過になっています。教室と指導員の確保の進捗を教えてください。
答弁 教室確保については学校側と協議し前向きな対応を考えていただいております。指導員確保については、関係部局と協

議を重ね、処遇改善も進んだことから令和2年度の新教室開設に向けて一定のめどはついております。しかし、随時入会受付を行いますので、待機が発生する可能性があります。

質問 一定のめどが立ったことについて大変うれしく思います。

しかし、放課後児童会は通常期のみではありません。夏季・冬季休業などの長期休業時の預け先が課題です。女性雇用を促進するには長期休業中の利用制度が必要です。今後、実施する予定があるのかを教えてください。

答弁 長期休業中の利用希望は認識しております。利用いただくためには、活動拠点となる教室の確保と指導員確保について考えていかなければならないと認識しております。

要望 子育て安心プランや働き方改革関連法案の順次施行に伴い、女性就業者数の増加が予想されます。通常期や長期休業中の受け皿の確保を必ず行ってください。そして、岡田市長。少子高齢化に伴い、利用者数はいずれ減少すると考えられます。その場しのぎの対応で、組織を膨れ上がらせるのか、令和元年12月本会議で私が提案しました、民間活用を行い、行政コスト削減や人口減少に向けてのこ

ンパクトシティ化を進めるのか、市政方針の決断が求められる時期です。批判や失敗に隠れることなく決断し、子育てしやすいまちづくりを進めてください。



大阪維新の会
個人質問
河井 計美

1 市街化調整区域について

質問 本市の活性化のためには、津堂小山地区と川北地区の市街化調整区域の活用しかないと思います。今後のお考えをお聞かせください。

答弁 将来の有効な土地利用を進めるには、地区計画の策定や市街化区域へ変更するなどの方法があり、それには、関係権利者の皆さまが、ニーズや採算性も含め、地域全体で合意形成を図っていただくことが必要と考えております。

要望 市街化調整区域が市街化区域になれば、土地の資産価値は格段に上がります。また、企業などを誘致すれば川北地区もにぎわいのある地区となりますので、将来の土地利用のあり方について勉強会などを進めていただきたく強く要望いたします。

2 公共交通の充実について

(1) 公共施設循環バスの現状に

ついて

質問 公共施設循環バス利用者数及び1年間の運行経費、今後のあり方をお聞かせください。

答弁 平成30年度における年間利用者は3万1611人、経費は2千37万2781円です。今後は、令和2年4月に新設される「まち建設課」が中心となり本市の持続可能な公共交通のあり方を探ってまいります。

要望 利用者数が減少傾向にある中、2千万円もの経費をかけて大型バスを運行するのはなく小型ワンボックス車を数台運行し、本数も増やすことで市民の利便性を高め高齢者の移動及び観光客の足として、更には幼稚園の統合により遠方から足を運ばなければならぬ園児の送迎にも運行するといった多様化を強く要望いたします。

3 働く職員の職場環境の改善について

(1) 残業時間ゼロを目指すについて

質問 時間外勤務手当の支給額及び残業に対するお考えをお聞かせください。

答弁 約6430万円となっております。A1などのICT技術の活用による業務の効率化や省力化への取り組みを進めなが

ら、長時間労働の解消はもちろん、残業時間の縮減を図ってまいりたいと考えおります。

要望 残業の発生の原因は担当部局や現場だけの責任ではなく、人事や業務システムそのものにも原因があると思われる。トップが残業時間をゼロにする目標を掲げ、岡田市長の強いリーダーシップにより「残業ゼロを目指す宣言」を強く要望いたします。



会派に属さない議員
個人質問
花崎 由貴子

1 子ども食堂について

質問 本市の子ども食堂の実態をお聞かせください。

答弁 3つの民間グループの活動情報を把握しています。

質問 何か支援をしていますか
答弁 情報の提供や相談対応をしています。

質問 今後はどのような体制で関わっていかれますか。

答弁 子どもの貧困対策として位置づけています。国や大阪府の動きに合わせて関わり方を検討します。

要望 子ども食堂は地域の交流

拠点へと移行しています。補助金を出すなど団体を支援している自治体もあります。本市も支援の体制を検討してください。

2 図書館について

質問 本市の図書館司書が少ないと考えますが人数をお聞かせください。

答弁 正職員が1人、任期職員が2人です。業務に変化があった場合は再検討する必要があります。

質問 どのような事業とサービスをされていますか。

答弁 子育て世帯にはおはなし会など、高齢者には大活字本などを用意、インターネットを利用して手続きを行うこと、他の図書館と相互貸借をしています。

質問 筆談ボードはありますか。

答弁 導入を検討しています。

質問 学校図書館の取り組みをお聞かせください。

答弁 各学校に配置して市立図書館とのシステム連携に取り組んでいます。

質問 課題は何ですか。
答弁 配送便がないことです。
要望 図書館を整えることは重要な市民サービスです。施設業務がいかなる形態になったとしても充実したシステムを維持してください。

令和2年第1回定例会議決結果一覧

議案番号・議案名	会派・議員名				公明党	維新の会 大阪			政新クラブ		日本共産党		無党派	結果
	ふじいでら 改革	山本 忠司	國下 尊央	伊藤 政一		生田 達也	河井 計美	松木 洋介	麻野 真吾	岡本 光	瀬川 覚	木下 誇		
議案第1号	藤井寺市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第3号	藤井寺市印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第4号	藤井寺市立市民総合会館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第5号	藤井寺市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第6号	藤井寺市子ども・子育て会議条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第7号	藤井寺市下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	//
議案第8号	藤井寺市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第9号	藤井寺市水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	//
議案第10号	藤井寺市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第11号	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	//
議案第12号	市道路線の認定及び廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第14号	令和元年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第15号	令和元年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第16号	令和元年度藤井寺市水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第17号	令和元年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第18号	令和2年度藤井寺市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	//
議案第19号	令和2年度藤井寺市駐車場特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第20号	令和2年度藤井寺市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	//
議案第21号	令和2年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	//
議案第22号	令和2年度藤井寺市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	//
議案第23号	令和2年度藤井寺市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第24号	令和2年度藤井寺市病院事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第25号	令和2年度藤井寺市公共下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第26号	令和元年度藤井寺市一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//

議長のため、採決不参加

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対

臨時会の日程

5月22日(金)
(議会役員改選など)

第2回定例会市議会の日程 (6/9~6/30)

【本会議】

6月9日(火) 提案説明
6月17日(水) 一般質問
6月18日(木) 一般質問など
6月30日(火) 委員長報告など

【委員会】

6月23日(火) 民生文教常任委員会
6月24日(水) 総務建設常任委員会



※臨時会、定例会ともに10時から開催します。
※日程などは変更する可能性があります。